

第66回日本母性衛生学会総会・学術集会

テーマ：母性衛生が拓く母子の笑顔

大会長：小川 久貴子（東京女子医科大学看護学部 教授）

会期：現地開催：2025年10月10日（金）～11日（土）

オンデマンド配信：2025年10月24日（金）～11月30日（日）

会場：京王プラザホテル（新宿区）

参加人数：2761名（うち現地参加2000名程）

参加カテゴリ	早期登録	通常登録	合計
会員	1064名	236名	1300名
非会員	874名	403名	1277名
学生	158名	26名	184名
合計			2761名

プログラム：会長講演、理事長講演、特別講演（5セッション）、教育講演（11セッション）、シンポジウム（4セッション:12演題）、学会指定プログラム（2セッション）、ハンズオン研修（2セッション）、交流セッション（10セッション）、市民公開講座、ランチョンセミナー（5セッション）、オンラインセミナー（4セッション）、日本母性衛生学会学術集会優秀演題賞候補演題（6演題）、一般口演（242演題）、ポスター（205演題）

第66回
日本母性衛生学会
総会・学術集会

The 66th Annual Meeting of
Japan Society of Maternal Health

母性衛生が拓く母子の笑顔
2025年10月10日(金)・11日(土)

会場 京王プラザホテル（東京都新宿区西新宿2-2-1）
学術集会長 小川久貴子（東京女子医科大学看護学部 教授）
演題受付予定 2025/2/1～5/10
開催形式 ハイブリッド開催（現地開催と一部オンデマンド配信）
参加登録開始予定 早期割引：2025/6/1～9/15 通常：2025/9/16～11/17

区分	早期	通常
会員	12,000円	14,000円
非会員	14,000円	16,000円
学生	2,000円	—

※最新情報は本大会HPにてご確認ください
大会HP: <https://supportoffice.jp/jsmh2025/>



第66回日本母性衛生学会総会・学術集会を振り返って

はじめに

2025年10月10日（金）、11日（土）、第66回日本母性衛生学会総会・学術集会を京王プラザホテル（新宿）にて開催しました。

本学術集会のテーマは「母性衛生が拓く母子の笑顔」としました。昨年の出生数は約68万人と少子化がさらに加速し、今年も超猛暑日や台風到来も増え異常気象が続き、コロナ感染が再燃するなど依然と混沌とした状況下、母子は不安を抱きながらも日々一生懸命に子育てに励んでおります。

このような状況下、本学術集会では、いかにしたら母子に笑顔をもたらせるかという観点で、周産期に関わるハイリスク妊娠・分娩、産科麻酔分娩、不妊や遺伝子治療、男性の育児参画などの実態・課題から、医療におけるAI実装や助産学共用試験導入や助産政策など多角的な話題を取り上げ、母性衛生に関わる知識や技術の向上や助産師教育を含めた支援のあり方の充実を目指して行いました。

皆様のご協力や御支援により、2761名もの参加者を迎えることができ、無事に学術集会を終えることが出来ました。ここに、厚く御礼申し上げます。

振り返り

正岡理事長のご講演では、これまでの日本母性衛生学会の果たしてきた役割と今後の展望を伺い、総会では、本学術集会から新設されました「日本母性衛生学会学術集会優秀演題賞」の授与式や名誉会員の授与式が行われました。



次に、東京母性衛生学会と共催でハンズオン研修として、「見て、触って、体験しよう、超音波検査」と「分娩後出血への対応（止血手技）」を設け、谷垣先生や神保先生、本学産婦人科の御協力を得て、助産師や若手医師が積極的に体験をし、熱気に溢れた研修となりました。



そして、全国助産師教育協議会や日本助産評価機構など他団体や他学会との共催もふやし、交流セッションでは超少子化時代にいかに分娩介助実習を工夫し質向上に努めるかなどの課題について臨床の助産師や医師から活発なご意見を伺うことで、今後の助産師教育に活かす機会になりました。

本学術集会では、高校生から臨床の医師・助産師など幅広い参加者を迎え、各専門領域の第一線の先生方から実践を交えながら分かりやすいご講演をして頂いたことで、「学会に参加して楽しかった」「来年は、この学会で発表してみたい」など前向きな声も聞かれ、活気に満ちた学会となりました。

今後の学術集会開催にあたって

開催時期の10月は台風の到来が多く、今年も台風22号が開催前日に八丈島付近に上陸し、大会後には台風23号が接近しはじめるという危険性がありましたがどうにか回避することが出来ました。また、関連学会の開催も多く、学生も実習に入る時期で参加に影響する要因でありました。しかし、オンデマンド併用やアドバンス助産師申請・更新要件のCLOCMiPレベルⅢ認証申請選択研修20件と必修研修4件を取り入れ、臨床上関心の高いテーマで講演等をして頂いたお蔭で参加者の増加や満足につながったと思います。これも、理事、監事、幹事の先生方はじめ都道府県代議員の先生方に、演者や座長、査読などで多大なるお力添えを頂いたお蔭です。ありがとうございます。

最後に、学術集会運営費は毎年の懸案事項ですが、助産師の教育職が集会長であることや物価高な社会情勢も反映し、特に企業からのランチョンセミナー協賛は難しい状況でした。正岡理事長はじめプログラム委員や実行委員の方々のお蔭で、どうにか開催出来た次第です。この場をお借りして、皆様に感謝申し上げます。そして、至らなかった点多々あったかとは存じますが、ご容赦ください。今後、益々の日本母性衛生学会の発展を祈願しております。



プログラム概要

会長講演

若年母の支援を通じて

座長：越山 雅文 滋賀県立大学人間看護学部大学院 教授

演者：小川久貴子 東京女子医科大学 看護学部 教授

理事長講演

超少子化時代の日本母性衛生学会：Think Nutrition First(FIGO)を考える

座長：小川久貴子 東京女子医科大学 看護学部 教授

演者：正岡 直樹 日本母性衛生学会 理事長、共立習志野台病院 院長

特別講演

特別講演① 妊娠と子宮頸癌

座長：松峯 寿美 東峯婦人クリニック 理事長

演者：田畑 務 東京女子医科大学産婦人科 教授

特別講演② これからのケアを変える AI：医療・看護・介護の現場実装

座長：大橋 一友 大手前大学国際看護学部 教授

演者：正宗 賢 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

特別講演③ 今時の子育て：子どもの成長発達を見守って

座長：西口 富三 静岡県立こども病院 周産期センター センター長

座長：稲井 洋子 埼玉医科大学短期大学 教授

演者：加部 一彦 埼玉医大総合医療センター新生児科 教授

特別講演④ 助産政策

座長：島袋 香子 北里大学 名誉教授

演者：福井トシ子 国際医療福祉大学大学院管理実践看護学 教授・副大学院長

特別講演⑤ 私の出産・子育て

座長：松峯 寿美 東峯婦人クリニック 理事長

演者：バービー 株式会社ワタナベエンターテインメント

教育講演

教育講演① 産科医の立場から安全で快適な分娩を考える

座長：荻田 和秀 りんくう総合医療センター 産婦人科 部長

演者：鈴木 俊治 日本医科大学女性生殖発達病態学分野大学院教授

教育講演② ハイリスク妊娠

座長：中塚 幹也 岡山大学大学院 保健学研究科 教授

演者：水主 川純 東京女子医科大学 教授

教育講演③ ハイリスク分娩：周産期医療の連携・協働

座長：金子 政時 宮崎大学医学部看護学科 教授

演者：宮坂 尚幸 東京科学大学病院周産・女性診療科 教授

教育講演④ 助産師の未来を拓く：アドバンス助産師制度の意義（共催：日本助産評価機構）

座長：村上 明美 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 学長

演者：内田 朋子 一般財団法人日本助産評価機構 理事

演者：山崎 あや 東京女子医科大学附属足立医療センター

演者：高橋 景子 山本助産院

演者：岡山 久代 筑波大学医学医療系 教授

教育講演⑤ 胎児診断～画像診断の point～

座長：関 博之 埼玉医科大学医学部 客員教授

演者：馬場 一憲 埼玉医科大学総合医療センター／総合周産期母子医療センター
母体・胎児部門 客員教授

教育講演⑥ 産科麻酔と助産ケア：母子の笑顔とより良い社会のために

座長：立岡 弓子 滋賀医科大学 医学部看護学科 教授

演者：照井 克生 埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科 教授

教育講演⑦ 明日からできる母乳育児ケア

座長：白石 三恵 大阪大学大学院 教授

演者：松崎 政代 東京科学大学 教授

演者：平出美栄子 矢島助産院

教育講演⑧ プレコンセプションケアの現状と今後の展望

座長：高橋 眞理 文京学院大学大学院 特任教授

演者：松永 佳子 東京慈恵会医科大学 教授

教育講演⑨ 難病の発症抑制の時代に向けて：脊髄性筋萎縮症の新生児スクリーニングと遺伝子治療

座長：福島 明宗 社会福祉法人恩賜財団済生会 北上済生会病院 病院長

演者：齋藤加代子 東京女子医科大学 名誉教授

教育講演⑩ 助産師教育への助産学共用試験の導入

座長：渡邊 典子 新潟青陵大学 教授

演者：村上 明美 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 学長

教育講演⑪ 妊活をしているカップルへの支援

座長：萩田 和秀 りんくう総合医療センター 産婦人科 部長

演者：中林 章 東京女子医科大学 産婦人科 准教授

JSMHEBP 学会指定研修プログラム

JSMHEBP 学会指定研修プログラム A：リプロダクティブヘルス研修 Perinatal Loss を考える

座長：中江 華子 関東中央病院産婦人科 部長

演者：亀井 良政 埼玉医科大学病院 産婦人科 教授

JSMHEBP 学会指定研修プログラム B：研究の研修：研究をすすめていくには

座長：小川久貴子 東京女子医科大学看護学研究科 教授

演者：坂田 成輝 東京女子医科大学看護学研究科 非常勤講師

ハンズオン研修

助産師外来での超音波画像診断：見て、触って、体験してみよう、超音波検

座長：石川 紀子 総合母子保健センター愛育病院 看護部長

演者：谷垣 伸治 杏林大学産科婦人科 教授

産科出血 一分娩後出血への対応（止血手技）

演者：神保 正利 公立大学法人 福島県立医科大学

ふくしま子ども・女性医療支援センター 准教授

演者：米山万里枝 東京医療保健大学大学院医療保健学研究科 教授

シンポジウム

シンポジウム① 産前産後のケア

座長：福島富士子 東京医療保健大学大学院 特任教授

演者：中嶋 彩 東峯サライ 副センター長

演者：米山万里枝 東京医療保健大学大学院医療保健学研究科 教授

演者：横山いずみ 愛育病院/愛育産後ケア子育てステーション 看護師長

シンポジウム② 海外における母子保健

- 座長：春名めぐみ 東京大学, 大学院医学系研究科 教授
- 演者：笹川 恵美 日本赤十字看護大学看護学部 准教授
- 演者：小原ひろみ 国立健康危機管理研究機構 (元国立国際医療研究センター)
国際医療協力局 課長
- 演者：駒形 朋子 東京女子医科大学看護学部 准教授

シンポジウム③ 若年妊婦支援の未来

- 座長：鈴木 由美 国際医療福祉大学 医療福祉学研究科 教授
- 演者：安達久美子 東京都立大学大学院人間健康科学研究科 教授
- 演者：大川 聡子 関西医科大学看護学部 教授
- 演者：大島由起雄 特定非営利活動法人きずなメール・プロジェクト 代表理事

シンポジウム④ 計画外妊娠への支援

- 座長：細坂 泰子 慶應義塾大学/大学院 看護医療学部 母性看護学・助産学 教授
- 演者：浅野しのぶ 認定 NPO 法人ピッコラーレ 相談支援員 社会福祉士、精神保健福祉士、
公認心理師
- 演者：松峯 美貴 東峯婦人クリニック 副院長
- 演者：白井 千晶 静岡大学人文社会科学部 教授

市民公開講座

イクメン・イクボスが拓く笑顔に～少子化社会克服のために

- 座長：小川久貴子 東京女子医科大学 看護学部 教授
- 座長：高桑 好一 新津産科婦人科クリニック 不育センター長
- 演者：塚越 学 NPO 法人ファザーリング・ジャパン副代表/ (株)
日本ギャップ解決研究所所長